

広報



特集

開校 一人一人が輝く、里美小・中学校へ …… P2~5

トピックス	……………	P7
常陸太田アーティスト・イン・レジデンス	……………	P9
平成 25 年度財政収支状況	……………	P14 ~ 15
まちの話題	……………	P18 ~ 19
ひたちおたてくてくウォーク	……………	P20
はじめての誕生日／園児たちのギャラリー	……………	P22

平成 26 年(2014)

5

月号

No.630

【すべり台のしいな】

特集

開校

一人一人が輝く、里美小・中学校へ

4月、賀美小と小里小が統合し、里美小として生まれ変わりました。市内では初めてとなる小・中施設一体型連携校として新たな一歩を踏み出した、里美小・中学校についてご紹介します。

小・中連携校として新たな一歩

里美小開校記念式典

4月5日、里美小学校の開校記念式典が行われ、里美小は里美中と施設一体型の小・中連携校としてスタートしました。

式には、里美小児童121人と里美中学生77人の計198人のほか、教職員と保護者などが出席。小・中学校長を兼務する會澤孝一校長は「小・中学校の垣根を越え、9年間の連続性の中で、児童生徒一人一人がキラキラ輝くような学校をつくっていきたい」とあいさつ。里美小・中学校は既存の中学校舎内に5・6年生が入り、4年生以下は増築された新校舎で勉強します。また、小・中の教職員全員が県内で初めてとなる小・中学校兼務の人事発令を受け、新たな一歩を踏み出しました。



大久保市長と児童と一緒にテープカット

里美小学校校歌
作詞・作曲 金澤 武久

一 緑色の風に、さみの笑顔ゆれたら
なんて明るい、きらめく朝のかたはら
さみと学校で育てた、小さな白いひまは
遙か未来を、彩る夢の花

一緒に見上げる、青い空に
広がる 早雲
両手いっばい、あふれるくらゐ
大きな夢を、飛ばそう

(※) 高く高く、遠く遠く
美しい、ふる里の空に

二 柔らかな清かな、音く光窓辺に
なんて優しい、温かな午後のかたはら
いつもそばにいるよ、ずっと仲良かったよ
同じ季節を、教室で重ねようよ

悲しいときも、うれしいときも
さみとなら、強くなれる
心の扉、そと開いて
そんを思い、伝えよう
時を超えて、歌に添せて
美しい、ふる里の空に

(※) repeat
高く高く、遠く遠く
美しい、里美の空に……

【里美小校章】

里美地区の豊かな自然と旧里美村の花「やまざくら」をイメージ

作詞作曲は、瑞竜中教諭の金澤武久氏（里美地区出身）

里美小・中学校入学式

4月8日、里美小・中学校の入学式が行われました。体育館の壇上から中学3年生の生徒に手を引かれた、新小学1年生12人と新中学1年生20人が入場。新入生は、広い体育館とたくさんの保護者や在校生に緊張した様子でしたが、自分の名前が呼ばれると、大きく元気な返事ができました。夢と希望



入場後、在校生に囲まれ着席した新入生



手を引かれながら入場



新中学1年生の記念撮影



校歌を熱唱



が詰まった里美小・中学校での学校生活が、いよいよスタートします。

9年間を見通した教育活動

里美小・中学校の取り組み

里美小・中学校では、9年間を見通した教育を行います。小・中学校の教育活動や教職員の交流などさまざまな取り組みを紹介します。

里美学を実施

児童生徒たちが、里美の歴史・文化遺産や伝統的な産業、自然など地域素材をもとに体験学習することで「里美郷土愛」を育てていきます。

学校行事について

入学式や体育祭と運動会、文化祭と三世代交流を一体化して実施し、小・中学生の関わり合いと小・中学校連続性を強めていきます。

部活動について

小学校高学年の部活動参加についても、本年度中に段階的に実施できるように努めていきます。また、中学生の部活動の顧問については、小学校の教員が副顧問として指導に当たります。



小学校における外国語活動の充実

小学5・6年生は、中学校英語担当教諭とALT担任による3人体制で、中学校の英語の教室で外国語活動を行います。また、小学1年生から4年生までALTを配置し、授業の充実を図りながら中学校英語へのスムーズな接続を図ります。

小学校の社会科授業

高学年の社会科の授業は、中学校の社会科担当教諭が専科で行います。



小学校の技能を伴う教科

小学校中・高学年の音楽・図工は、中学校教諭と小学校学級担任と一緒に授業を行います。また、小学校高学年の体育は、季節や内容によって中学校1年生と合同で行います。

小学校における算数の授業

小学4・5・6年生の授業において中学校の教諭を配置し、中学校教諭が授業を展開し、小学校学級担任は、個別支援に当たるなどして、学習内容の理解度を高めていきます。

道徳の授業について

礼儀や清掃、郷土愛やボランティア活動、命の大切さ、最後までやり抜く力等を9年間をとおして重点的に指導していきます。

特別支援教育について

親学級との交流、小・中学校での合同授業など、関わり合いを深めて、担当教員の他に教員を配置し、きめ細かな指導をしていきます。



開校にあたって



里美小 6年
鈴木萌々花さん



里美中 3年
長山 暢くん

いよいよ里美小がスタートしました。新しい校舎で、新しい友達と一緒に生活が始まります。6年生が中心となつて、低学年にやさしくしたり、笑顔で接したりし、思いやりのある笑顔があふれる小学校にしていきたいと思えます。里美中学校では、「あいさつが日本一の学校にしたい」という目標があると聞きました。里美小もあいさつが日本一の学校になれるように頑張りたいと思えます。これから中学生と同じ敷地の中で勉強するので、一緒に、楽しく交流する時間があればいいなと思います。里美小でみんなでたくさん思い出をつくつていきたいです。

里美中は、県内でも有数の教科教室型の校舎です。教科ごとに教室が変わり、いつでも新鮮な気持ちで授業を受けることができます。その他教科も少しずつ難しくなりますが、授業時間が5分に変わりしっかりと授業を受け、こつこつ努力すれば乗り越えることができます。今年から里美中は、里美小と一緒にになりました。私たちも初めての経験であり、わからないところがあると思えます。伝統のある里美中が一步前進するためには、里美中生徒全員が協力して通らなければならぬ道です。里美中の記念すべき新たなスタートです。頑張つていきましょう。

校長先生に聞きました

里美小の教育目標は？

里美小・中学校として、一体化した学校経営を考えています。そのため、賀美小・小里小の「夢を大事にした教育」を受け継ぎ、「夢や志に挑戦し、未来を切り拓く人間力の育成」を目標に掲げています。



とてもきれいな校舎ですね

中学校と同じ造りで、木のぬくもりのある学校です。内装、外装に木材をふんだんに使用し、温かく明るい印象で解放感があります。また、落ち着いた雰囲気の中で学べる学校です。



里美小・中学校
会澤 孝一校長



木をふんだんに使用した解放感がある校舎

小・中学校が併設されていますが教育の特徴は？

小・中学校の9年間を見通した教育方針で子どもたちを育てていきます。例えば、小学校高学年から音楽や図工だけでなく、算数、外国語活動や理科などにも教科担任制を取り入れ、中学校教員の専門性を生かした授業を進めることで、児童が今までの以上に興味・関心をもつて授業を受けることができます。また、児童生徒が行事や授業で交流をもつことで、小学生が早くから中学校に慣れながら生活することができます。



子どもたちの様子はどうか？

里美小が開校して日が浅いのですが、昼休みに、中学生と小学生が一緒に遊ぶなど、中学生が小学生の面倒をみている姿が見受けられます。



昼休みに一緒に遊ぶ児童生徒

今後の抱負をお聞かせください

市内では、初めてとなる小・中連携教育校の里美小・中学校は、賀美小・小里小・里美中の学校教育の継続ではなく新しい学校として教育活動を展開していきます。小学校と中学校の教育の垣根を越え新しいシステムを創り上げていきます。そして、一人一人が輝く学校にするため全力で取り組んでいきたいと思えます。

叙勲

88歳以上の方を対象とした「高齢者叙勲」において、本市から和田勉さんが受章されました。



瑞宝双光章

和田 勉氏（玉造町）

元大宮郵便局長。永年にわたり郵政事業に尽力されました。

まちづくりや暮らしの向上にご尽力いただく

町会長の皆さんを

紹介します

〔敬称略〕

内田町上	小沢町	岡田町	西小沢地区	高貴町	長谷町	田渡町	西宮町	三才町	四季の丘 はたそめ	幡町	機初地区	寿町	西一町	西二町	西三町	山下町	木崎二町	木崎一町	東三町	東二町	金井町	埴町	東一町	栄町	中城町	内堀町	宮本町	太田地区			
岡部啓文	木村孝喜	小田部勝一		小倉道彦	武子伸一	城石恒明	宮原輝夫	諏訪幸雄	皆川和彦	市毛昭夫		萩野昌夫	菊池均	高橋松男	菊池保裕	生田目千恵子	長澤宏	石井勝三	鍋屋繁範	大須賀克己	白土聖龍	井坂晴	石橋秀夫	小倉敏行	室井保二	平澤國男	山部正之				
上大門町二	上大門町一	下大門町二	下大門町一	増井町	新宿町下	新宿町上	馬場町真淵	馬場町下	馬場町上	譽田地区	稲木町	佐竹南台	天神林町	谷河原町	磯部町	佐竹地区	島町	栗原町	藤田町	下河合町	上河合町	幸久地区	沢目町	上土木内町	堅磐町	落合町	内田町下	内田町中			
井坂正夫	黒羽一行	大和田隆	榊東光	黒羽弘晟	大森敬一	中郡浩	金田健志	小林宏平	齋藤俊彦		助川弘武	高木喜和	小林啓徳	篠原勝幸	川崎興靖		大内昭	宇野隆行	大内國昭	萩庭清久	宇野英夫		田所清	根本敏博	武藤祐一	舟橋洋行	富岡美明	大内隆			
玉造町	大平町	大里町2	大里町1	薬谷町	久米町	久米地区	西河内上町	西河内中町	西河内下町	町屋町北	町屋町	河内地区	大森町	真弓町 弓ヶ丘団地	真弓町 真	真弓町	龜作町	小目町	世矢地区	春日町	常福地町	茅根町	白羽町	里野宮町	佐都地区	瑞竜町一	瑞竜町二	小林一久			
秋山壽男	齊藤公男	坏誠	鈴木定夫	永田清	石井彰		菊池稔	菊池邦久	根本悟	根本富義	和田弘次		梶山權一	小林良一	高橋能久	片根洋壽	會澤裕志		増子修	石川猛	柴田正之	大津敏雄	羽生雄二		大和田正男						
国安町	棚谷町	東連地町	和田町	松平町	山田地区		上宮河内町	赤土町	下宮河内町	上利員町	金砂地区	岩手町	千寿町	中利員町	下利員町	箕町	竹合町	大方町	高柿町	金郷地区	小島町	中野町	松栄町	新地町	花房町	芦間町	茅根和一				
和田謹司	平山一也	菊池昂	館野健	三宅進一			菊池明徳	岡崎武	根本一男	宮本忠勝		關根幸男	櫻井進	野田篤	須藤保弘	岩間正一	阪本勝實	多賀谷謙豊	塩谷和美		中村忠男	埴忠敬	安一磨	後藤和夫	小園壽嗣						
上深荻大嘗町	小菅町	折橋町	賀美地区	大中町	大中町	小中町	小妻町	徳田町	里川町	小里地区		上高倉町第2	上高倉町第1	下高倉町第2	下高倉町第1	高倉地区	天下野町六区	天下野町五区	天下野町四区	天下野町三区	天下野町二区	天下野町一区	天下野地区	東染町	中染町中西	中染町中東	中染町中南	西染町	町田町	和久町	染和田地区
鈴木敏一	中野強	佐川京平		井野宮勤	才丸一美	井坂勝安	豊田一	大森康多	荷見誠		神長敏夫	吉成恒平	荷見不可止	細谷臣一		長嶋正明	菊池洋	根本謙治	中嶋満	根本光則	横山登茂司		菊池三男	棚谷勝美	安島俊一	吉澤良和	石川正己	川上勝男	小林平		

市民協働推進課（内線216）
 金砂地域振興課 76・2111
 水府地域振興課 85・1111
 里美地域振興課 82・2111

親水広場等が完成

4月15日、山吹運動公園親水広場と少年野球場の竣工式が行われました。

親水広場は、震災の影響で解体されたプール跡地に整備最新の遊具や噴水を備え、旧プール管理棟を休憩スペースとして利用できます。

あいさつした大久保市長は、「お子さんたちには、この場所ですぐに伸び伸びと遊んでほしい」と述べました。

また、隣接する少年野球場は、外野に芝生もあり、公式戦が開催できる球場となりました。



太田進徳幼稚園児がダンスで完成を祝った



少年野球場。写真奥が親水広場



休憩所内の遊戯室



18カ所から高さが違う噴水が出る



アスレチック的な面もある大型遊具

新根本橋完成開通式

3月28日、白羽町地内から常福地町地内を結ぶ市道0108号線と、新根本橋を含めた道路の完成に伴い開通式が行われ、地元の子どもたちや町会、子育て上手推進隊の宣伝部長「じょうづるさん」など約80人が参加し式典が行われました。

市道0108号線は平成14年度から整備を進め、平成19年度からは道路改良工事および新根本橋工事に着手し、3月末に延長1070メートルが完成。全面開通により白羽スポーツ広場や市街地への利便性、中学生の登下校の安全性が図られます。



地元の児童も参加したテープカット

ひたちおたさくらまつり

4月4日から13日まで、西山公園においてひたちおたさくらまつりが開催されました。西山公園内には、ソメイヨシノやシダレサクラ、ボタンサクラなど約1500本が咲き誇り、ボランティア団体による湯茶のおもてなしや夜のライトアップなど、訪れる観光客を楽しませていました。



満開の桜を楽しむ



約1,500本の桜

竜神峡鯉のぼりまつり

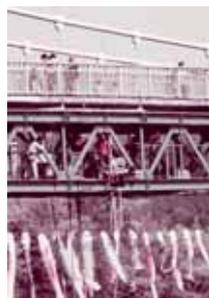
4月26日から5月18日までの23日間、竜神大吊橋において、第25回竜神峡鯉のぼりまつりが開催。

会場では、今年の3月にお目見えした、日本最大級のバンジージャンプが人気で、およそ千匹の鯉のぼりが泳ぐ中を、ジャンプする姿は圧巻。

また、地元特産物の展示即売やクイズ大会などのさまざまなイベントも行われ、多くの家族連れなどでにぎわっていました。



鯉のぼりが泳ぐなかのバンジー



旬彩レシピ¹

常陸太田の「旬」を感じるレシピを紹介！

今月は

きやらぶき



材料

ふき...2 ~ 3本、 醤油...200cc、
酒...100cc、 砂糖...50g、
塩...適量、 唐辛子...お好みで

レシピ

ふきの根元の部分を切り落とし、皮付きのまま鍋の大きさに合わせて切る。

塩を振ってまな板の上で擦り、うぶ毛を取る。

鍋にお湯を沸騰させ、をさっと煮る。

ざるに上げて水気を切る。

5 cm程度の長さに切りそろえる。

鍋に と酒、醤油と砂糖を加え、沸騰したらすぐ弱火にする。

*お好みで唐辛子を加える。

落とし蓋をし、焦げないように注意しながら、水分がなくなり、柔らかくなるまで煮る。

水を入れないことで保存期間を長くし、食べきれない分は冷凍して冬の間のお茶請けに。家庭によってさまざまな味があって楽しい。

▶▶▶ 今月の朝市は5月18日(日)に市役所駐車場で開催します! ◀◀◀

vol.14

朝イチnavi

塩谷農園(高柿町)

塩谷 栄さん

商品の良さを知ってもらいたい



野菜の栽培方法は、露地栽培です。試行錯誤しながら各種野菜の環境に適した土づくりをしています。自然の恵みがたつぷりとふくまれた野菜でおいしく元気がでます。就農してまだ日が浅く農業技術の取得に苦労していますが、もっと勉強して皆さんに喜ばれる野菜作りをしていきたいです。現在、田畑作業は、父母と私の3人で行っていきますが、近い将来スタップを入れて家族経営からの脱却を考えています。これからの若者が「やっぱ、農業だっぺ」と思うような仕事をしたいと思っています。



朝採りでみずみずしい野菜が並ぶ

が「やっぱ、農業だっぺ」と思うような仕事をしたいと思っています。

大谷畳店(埴町)

大谷 一仁さん

伝統文化である畳の良さを伝えたい



畳の製造業を営んで、私で5代目になります。畳は、その部屋の間取りや構造によって、大きさや深さが違います。いかに平にして隙間が無いように仕上げられるのが腕の見せ所。自分を選んでくれたお客さんに誠心誠意対応しています。朝市では、畳のサンプルの展示とともに畳のへりや畳表を使った小物を販売しています。年々バリエーションも豊富になり15種類ぐらいになりました。少しでも、多くの人に畳に興味をもってもらいたいと思います。



しっかりとした作りの商品です

HITACHIOTA ARTIST IN RESIDENCE

常陸太田アーティスト・イン・レジデンス

4月から里美に移住したアーティスト

現在の活動と今後の予定

なる (末石真弓)

茨城県牛久市出身
群馬大学教育学部保健体育科卒業

大学卒業後、小さいころからの夢だった『小学校の先生』になる。
そこで算数の教材として制作した紙芝居がきっかけとなり、『先生』と10歳から社会人まで続けていた『バスケットボール』を辞めて絵の世界へ。第2の夢は『絵本作家』になること。楽しく、マイペースに制作活動中。現在、イラスト、立体作品、ポストカード、ウェルカムボードなど、周囲の人たちに支えられ幅広い活動をしている。

地域の皆様とのつながりをとおして、そこで生まれた想いを形として表現できたらと思っています。



これまでの主な活動

高知県須崎市のアーティストインレジデンス視察

3月中旬に、常陸太田市と同様に市の取組みとしてアーティストインレジデンス事業を行っている須崎市を視察しました。市内やギャラリーを案内していただき、事業を維持する活気に刺激を受けました。



企画者や協力隊、地域の皆様と

子育てお母さん向けワークショップを開催しました

アーティスト支援団体であるNPO法人結がスタートさせた取組み「美術の時間」の第1回として、4月24日に林友深によるワークショップ「たわむれ at アート」を「Cafe + 1 (東一町)」にて行いました。透明絵具で制作した作品群はカフェのガラス窓に展示しています。誰もがアーティストであることを証明するような素晴らしい作品がずらりと並んでいます。ぜひご覧ください。



ワークショップの様子



完成作品

これからの主な活動

親水公園休憩スペースに絵を描きます

4月にオープンした山吹運動公園内の親水公園休憩スペースの一室の壁に、常陸太田の4地区をイメージした絵をミヤタユキと林で描きます。

他にも地域資源を利用した作品制作やイベント企画が進行中です。今後もよろしくお願いいたします！

常陸太田市アーティスト・イン・レジデンスサポーター募集！

「常陸太田市アーティスト・イン・レジデンスサポーター」とは、アーティスト・イン・レジデンス事業において、イベント運営やインターネットを活用した情報発信等を補助していただくボランティアスタッフです。

応募方法や詳細については市のHPまたは常陸太田アーティスト・イン・レジデンスのHP、4月25日号のお知らせ版をご覧ください。ご応募お待ちしております。

活動内容：イベント運営（受付、記録）の補助、情報発信等（インターネットを活用した）の補助、ワークショップやアート教室の準備の補助等

報酬等：無償

3人で力を合わせて取組みます！



壁画制作や再生商品開発、パッケージデザイン、イベントへの参加など、市内各地でさまざまな活動をしています。市民の皆様と関わりながら、芸術に特化した楽しく深みのある活動をしていきたいと思っています。アーティストへのお問い合わせは、市少子化・人口減少対策課までお願いします。
tel 0294-72-3111(内線 314・346) fax 0294-72-3002 ホームページ：hitachiota-air.com FB ページ：facebook.com/air.hitachiota



男体山・白木山ハイキングコース整備



2班に分かれて作業。さぁ出発

3月25日、上高倉町の持方集落の地域の皆さんと太田一高JRC部の皆さんと一緒に、男体山・白木山ハイキングコース整備として樹木に解説プレートの取付けやゴミ拾いを行いました。ハイキング客に楽しんでもらおうとプレート制作に取り組み、男体山・白木山のグループに分かれ生息している樹木36カ所に解説したプレートの設置を行いました。男体山・白木山を訪れた際には、ぜひ、見つけてください。



ハイキングコースのゴミ拾い



看板の前でポーズ

部員の似顔絵イラストで樹木の解説をしている看板



⑤男体山・⑥白木山の頂上で記念撮影



ちよつと寄り道

今月は西河内下町



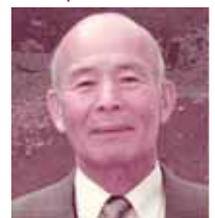
旧町屋変電所



まだらいし斑石

西河内下町にある旧町屋変電所の西側に、河内の文化遺産を守る会の皆さんのご尽力によりカラン岩の一種の斑石まだらいしがきれいに円形状にらんで展示されています。この斑石は、県内を代表する石材として昭和の中ごろまで採掘されてきました。別名町屋石と呼ばれ、瑞龍山にある水戸徳川家の墓碑として代々使われていることでも有名です。斑石の文様は、もんよう笹目・ぼたん・もみじ・しもふり・べっこうなどそれぞれ確認されています。最近では、ほとんど産出されず貴重なものです。

来月は、西河内下町の「下」つながりで、下大門町さんをお願いいたします。



紹介者
西河内下町
根本 悟さん

はじめまして

4月1日から新しく里美地域の地域おこし協力隊として配属された磯部茉莉と田中あかねです。私たちは2人とも清泉女子大学地球市民学科の卒業生です。今回は初めてということで、どうして常陸太田で地域おこし協力隊になったのかをご説明します。

まずは私、磯部から。生まれも育ちも会津地方の小さな村。大学では愛知県の小さな村で過疎の現状などを調査してきました。それから3年間は東京で働きましたが、やはり、地域と関わる仕事がしたく、母校と十数年来のつながりのあるこの地に来たという経緯です。



次に、埼玉県出身の田中あかねです。大学時代に学んだこと、留学中に感銘を受けた“地域と人がつながる”ということに自分が仕事として関わるにはどうしたらいいのかとっていました。その中で地域おこし協力隊が自分の思っていることに一番近い仕事なのではないかと考え現在に至ります！



まだまだ地域おこしに関しては勉強中ですが、これから皆さんと一緒に頑張っていきますのでよろしくお祈りします。



活動の息吹き

6月1日に開催される奥久慈トレイルレースにて、赤岩集落では地域の方々が主体となった独自のエイドステーションを設けることを予定しています。

その中で、エイド通過者へ押花メッセージカードを配布しようと、地域の方々が手作りで参加者分となる500枚のカードを準備しています。大量に作った押し花を貼りメッセージを書いていくことはとても大変な作業ですが、このたくさんの押し花を作られたことに、地域の方へ畏敬の念を抱きました。

また、茨城マウンテンバイクネットワーク、里山ホテルときわ路、水府振興公社等の方々とともに、常陸太田市全域を使ったサイクリングイベントが仕掛けられないか協議をしています。

市役所本庁と生涯学習センターおよび水府総合センターで、半年間の活動を紹介する写真展を開催させていただきました。たくさんの方々からご意見やご協力をいただき、大変嬉しく思っています。

あれもこれもとなってはいますが、まずは種を撒かないと収穫はできないですし、私は芽の成長を促す肥料のような存在になればと思います。多くの草木が萌黄色に息吹くように、地域の皆さんと活動していけたらと考えています。

渡部
(水府)磯部
(里美)田中
(里美)白石
(金砂郷)

水府

金砂郷

大学の後輩の衝撃



常陸太田の地域おこし協力隊の多くが卒業した清泉女子大学地球市民学科。このほど行われた新入生合宿の最終日に「新1年生・在学生 × 卒業生」の交流があり、卒業生として活動している私たちのことを少しだけ発表させていただきました。日本国内の地方にも目を向けてほしいということ、就職活動をする際に都市部に就職することだけがすべてではないということ、常陸太田という魅力的な場所、人がいるということなどを伝えました。

新1年生からは、「今まで普通に進学して、大学に入って、普通に就職して人生は終わるものだと思っていた。先輩の話は、衝撃でした。」「東京から出たことがなかったけど、東京だけじゃないと思うようになった」などの声がありました。これから高校卒業したばかりの後輩が大学でどのような学びをして羽ばたくのかは分かりませんが、数人の心には響いてくれたのだと思うと、私の活動も意義深いもののような気がします。

また1年間協力隊として胸を張って頑張ろうと改めて思った大学でのひとときでした。



がん検診を受けよう

肺がん検診

日本人の死亡原因の第1位は「がん」ですが、「がん」の中でも死亡する方が最も多いのが「肺がん」です。「肺がん」は、自覚症状がほとんどないため、気づいたときには手遅れとなる場合もあります。

治療技術の進歩により、早期発見し治療を開始すれば、約8割が治癒するといわれていますが、残念ながら本市の平成24年度の「肺がん」検診受診率は25.7%に留まっています。

定期的に「肺がん」検診を受診し、早期発見・早期治療を心掛けましょう。

原因

肺がんを引き起こす最も大きな原因は喫煙です。**男性の肺がんの7割は喫煙によるもの**で、毎日20本以上吸う喫煙者の妻の肺がん死亡率は、非喫煙者の妻の2倍だともいわれています。また、肺がん以外のすべてのがんについても、原因の3割は喫煙だと考えられています。



自覚症状

初期の肺がんは、ほとんど自覚症状は見られません。治りにくいせき、血たん、胸痛、息切れ、呼吸困難等は進行してからよくみられる症状です。



肺がん検診の種類

胸部X線検査

肺全体をエックス線で撮影する検査（胸部にある肺・心臓等の臓器などが、重なって映ってしまう）

○対象者 40歳以上

胸部CT検査

胸部を10ミリ間隔で輪切りにした状態の画像を調べる検査（他の臓器と重なりがなく、より細かい異常を発見できる）

○対象者 50歳以上

*喫煙者は毎年、非喫煙者ははじめに2年連続受診し、その後は3年に1回の受診をお勧めします。
*心臓ペースメーカーを挿入している方は、受診することができません。

喀たん細胞診

たんを採取してがん細胞の有無を調べる検査
○対象者 50歳以上（特に喫煙者、血たんが出る方）
*日常的にたんが出ない方は検査できません。

【市の検診結果（平成24年度）】

検診の種類	受診人数	発見肺がん数	肺がん疑い（検査中）
胸部X線検査	5,295人	3人	7人
胸部CT検査	438人	0人	0人
喀たん細胞診	109人	0人	0人

*検診の日程等詳細は、「ひたちおおたお知らせ版」でお知らせしています。
肺がん検診（胸部CT検査・喀たん検査）については3月25日号をご覧ください。また、さわやかセツト健診でも肺がん検診（胸部X線検査・喀たん検査）を受けることができます。ぜひ受診しましょう。

子のある夫にも遺族基礎年金を支給

国民年金に加入中の方が亡くなった時、これまでは死亡した方によって生計を維持されていた「子のある妻」または「子」に遺族基礎年金が支給されていました。

平成 26 年 4 月からは、「子のある夫」にも遺族基礎年金が支給されます。



平成 26 年 4 月以降に死亡した方の遺族年金が対象となります。

「子」とは、18 歳到達年度の末日（3 月 31 日）を経過していない子、20 歳未満で障害年金の障害等級 1 級または 2 級の子です。

亡くなった方の年金に未納期間があると支給できない場合があります。

未支給年金を受け取れる遺族の範囲が拡大

年金を受けている方が亡くなられたときに、まだ受け取っていない年金や、亡くなった日より後に振り込まれた年金がある場合、亡くなった月分までの年金については、未支給年金としてその方と生計を同じくしていた遺族が受け取ることができます。

これまでは、未支給年金を受け取れる遺族の範囲は、亡くなった方と生計を同じくしていた「配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹」でした。

平成 26 年 4 月からは、これに加え「それ以外の 3 親等内の親族（甥・姪、おじ・おば、子の配偶者など）」まで広がります。



<新たに未支給年金を受け取れる遺族>

1 親等	子の配偶者・配偶者の父母
2 親等	孫の配偶者、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の祖父母、配偶者の兄弟姉妹
3 親等	曾孫、曾祖父母、曾孫の配偶者、甥・姪、おじ・おば、甥・姪の配偶者、おじ・おばの配偶者、配偶者の曾祖父母、配偶者の甥・姪、配偶者のおじ・おば

平成 26 年 4 月以降に死亡した方の未支給年金が対象となります。

平成 26 年 4 月から
国民年金保険料の受け取りの仕組みが
一部変わりました



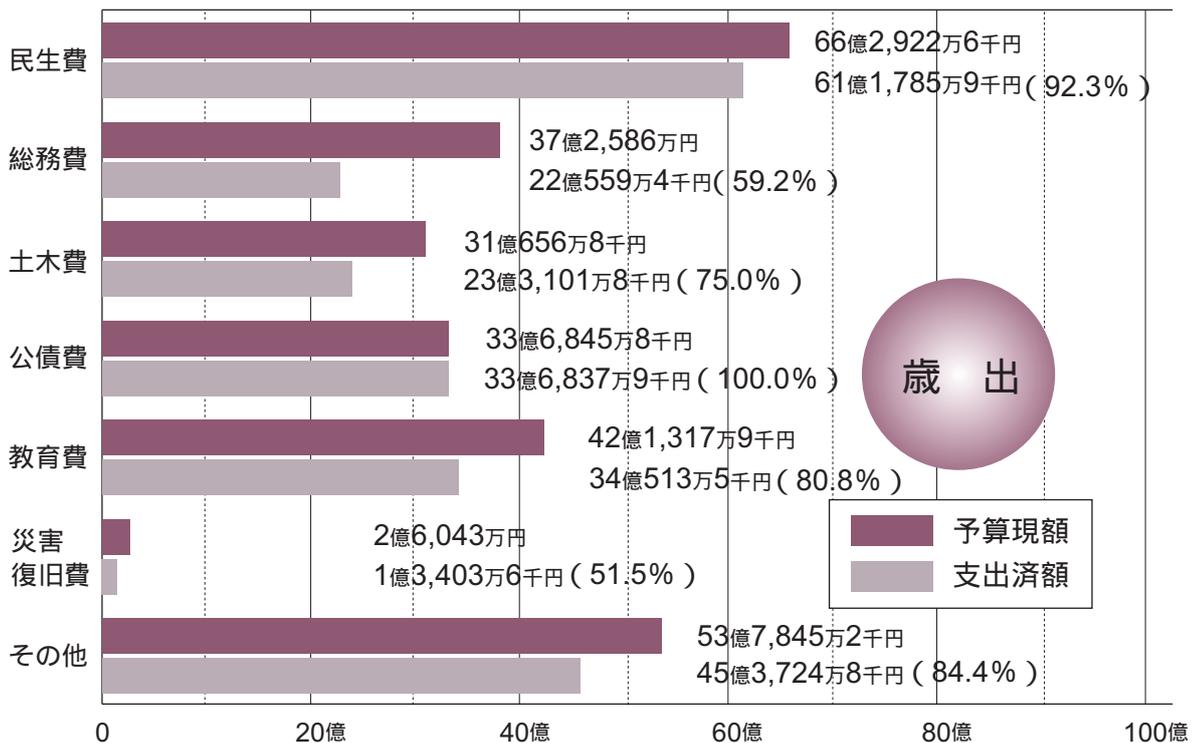
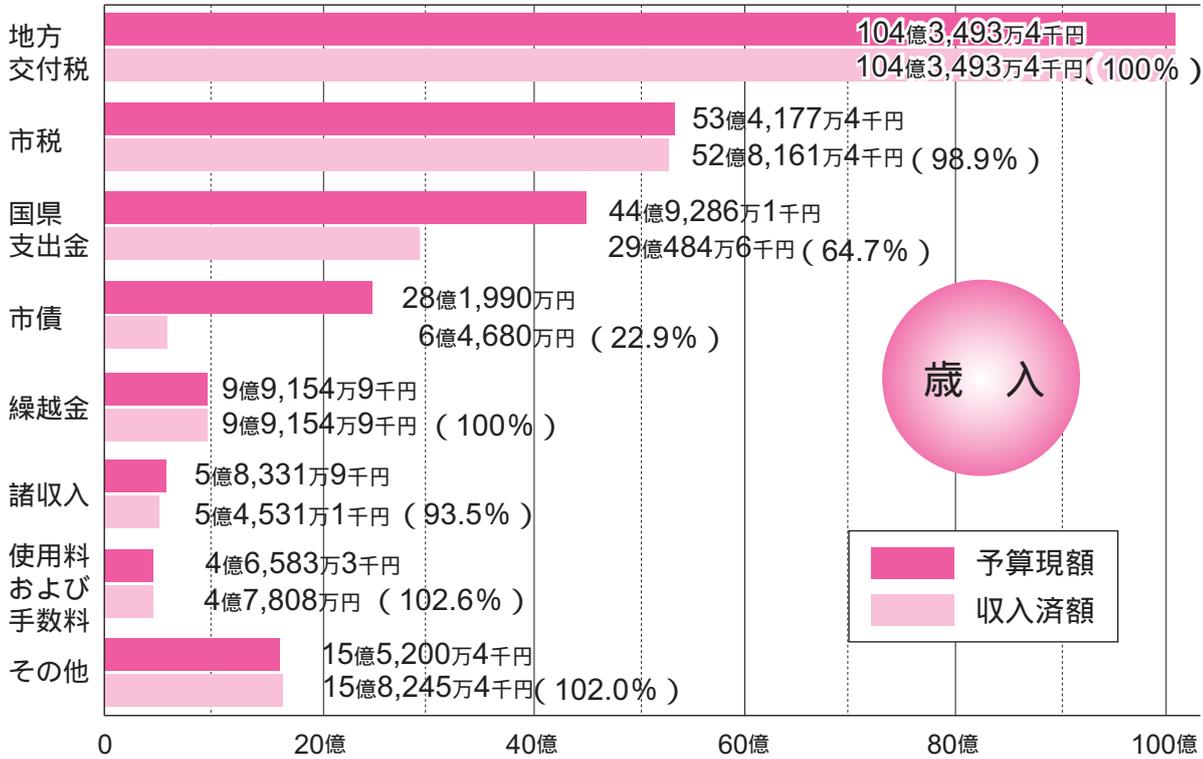
一般会計
予算額 **266億8,217万4千円**

平成**25**年度

財政収支状況

収入済額 **228億6,559万円** [収入率 85.7%]

支出済額 **220億9,927万3千円** [支出率 82.8%]



市では地方自治法および市条例に基づき、財政運営状況を年2回お知らせしています。
今回は平成26年3月31日現在の財政収支状況をお知らせします。
問財政課（内線319）

特別会計
予算額

148億6,909万3千円

収入済額

138億3,650万円 [収入率 93.1%]

支出済額

128億8,119万4千円 [支出率 86.6%]

区 分	予算額	収入済額	支出済額	収入率	支出率
国民健康保険	64億2,616万6千円	58億6,566万1千円	54億490万2千円	91.3%	84.1%
後期高齢者医療	6億1,146万6千円	6億1,206万2千円	6億17万5千円	100.1%	98.2%
介護保険	50億4,790万4千円	48億6,237万1千円	45億3,441万4千円	96.3%	89.8%
下水道事業	20億138万8千円	18億649万8千円	16億8,722万8千円	90.3%	84.3%
農業集落排水事業	3億4,686万2千円	3億5,428万9千円	3億720万3千円	102.1%	88.6%
戸別合併処理浄化槽設置整備事業	1億2,399万7千円	6,310万5千円	8,849万8千円	50.9%	71.4%
簡易水道事業	2億8,857万1千円	2億4,948万5千円	2億5,147万2千円	86.5%	87.1%
小里財産区会計	2,273万9千円	2,302万6千円	729万9千円	101.3%	32.1%

市税の内訳

[市 民 税]	25億1,819万2千円(47.7%)	[都市計画税]	1億4,745万4千円(2.8%)
[固定資産税]	21億5,643万1千円(40.8%)	[軽自動車税]	1億3,378万6千円(2.5%)
[市たばこ税]	3億695万5千円(5.8%)	[そ の 他]	1,879万4千円(0.4%)

市有財産

区 分	面積・金額
歳計現金(現金・預金)	32億1,045万円
各種基金(各種積立金)	137億7,086万円
有 価 証 券	5,655万円
土 地 ・ 山 林	6,734,579㎡
建 物	277,752㎡

この執行状況は決算額ではありません。
平成25年度の決算額は、5月31日までの
出納整理期間を経た後、まとめります。

市債の借入金残高

区 分	借入金残高	
一 般 会 計	臨時財政対策債	72億9,923万9千円
	過疎対策事業債	28億1,272万8千円
	衛 生 債	11億218万2千円
	土 木 債	18億7,280万4千円
	教 育 債	16億3,426万5千円
	そ の 他	60億94万3千円
	小 計	207億2,216万1千円
下 水 道 事 業	72億4,897万4千円	
農 業 集 落 排 水 事 業	25億5,779万5千円	
簡 易 水 道 事 業	9億8,696万6千円	
戸別合併処理浄化槽設置整備事業	4億4,165万3千円	
水 道 事 業	68億6,602万4千円	
工 業 用 水 道 事 業	8,987万円	
合 計	389億1,344万3千円	

市郷土資料館に所蔵されている貴重な資料を紹介

太田遺産

太田郷校絵図

江戸時代の終わりに近づいた天保8年（1837年）9月に現在の太田小学校の北側に水戸藩の郷校「益習館」が開設されました。郷校は水戸藩天保の改革の一環として藩内の主要な地に設置され、藩校が藩士の子弟を対象にしたのに対し、郷校は庶民にまで門戸を広げていました。益習館は別名医学館とも呼ばれ、郷医の研修を中心に行われていたようです。

水戸藩内の郷校は、安政3年に地名を冠した郷校に名称を変え、「益習館」は「太田郷校」と変わり、現在の太田進徳幼稚園の敷地に移転しました。

郷土資料館が所蔵する「太田郷校絵図」は、移転した翌年の安政4年（1856年）に作成されました。縦115センチ横144センチの大きな図で、南を上にして装丁されています。向かって左側には御文館と御武場、御文庫があり、一段低い向かつて右側には御役屋が描

かれ、間の斜面にはツツジが植えられていました。

図の右上には、題言として、太田郷校主であった綿引文山の撰による文章が記されています。題言の最後に、この図は郷校の文庫に所蔵しておく旨が記されており、郷校廃止後に当時の太田村役場に引き継がれ、今に残っているものと考えられます。水戸藩内には15の郷校がありました。このような詳細な図面が残る郷校はほかにはなく、とても貴重な資料といえます。



太田郷校絵図

市郷土資料館（梅津会館）は、耐震工事のため現在閉館中です。今年秋のリニューアルオープンをお楽しみに。

問文化課（内線543）

Information

中染町の鑄造阿弥陀如来立像が国指定文化財に

3月18日に行われた国の文化審議会は、中染町の鑄（鉄）造阿弥陀如来立像を国指定重要文化財に指定するよう答申しました。この像は高さ164cmで、鉄できています。鉄の仏像は珍しくとても価値があると評価されました。また、中染町の駿河屋宮田書店の店舗兼居宅と土蔵、東二町の旧稲田屋赤煉瓦蔵については、国登録有形文化財になることになりました。



中染町の鑄（鉄）造阿弥陀如来立像



旧稲田屋赤煉瓦蔵（東二町）



駿河屋宮田書店（中城町）



問文化課（内線543）

平成25年度 情報公開・個人情報保護の状況

平成 25 年度の市情報公開の実施状況および市個人情報保護の運用状況について、次のとおり公表します。

情報公開の実施状況

実施機関	請求 件数	左の処理状況			不服申立 件数	左の処理状況
		公開 件数	一部公開 件数	非公開 件数		非公開
市長	44	20	7	17	1	1
監査委員	11	2	2	7	0	0
農業委員会	2	0	2	0	0	0
議会	2	0	0	2	0	0

個人情報保護の運用状況

- ・個人情報取扱事務の届出件数 501 件
- ・個人情報に係る開示請求の状況 なし

問情報政策課情報化推進係（内線 305）

栗原釣場で釣り大会

とき 5月25日

午前6時～正午（雨天決行）

ところ 栗原釣場（栗原町）

釣り愛好家たちの熱い戦いが帰ってくる！

8071)

問観光振興課観光振興係（72



消費生活相談コーナー

振り込め詐欺に注意

くだまされるな 電話の相手はニセ者だ！

【事例】

息子を名乗る男から女性宅に「会社の小切手をなくして、大変なことになってしまった。至急、お金を工面してほしい。自分は用事があるため取りに行けないので、代わりに会社の上司が自宅に取りに行くので渡して欲しい」という電話があった。



【アドバイス】

犯人は「大変なことになった。至急お金を用意してほしい」と緊急事態であることを告げて、お金をだまし取ろうとします。「代わりの者がお金を受け取りに行く」と言われたら、振り込め詐欺を疑ってください。このような電話があった場合、一人で判断することなく、家族などに相談して事実を確認するようにしましょう。

問市消費生活センター（市民協働推進課内 701322）

ご支援、ありがとうございます。

ふるさと常陸太田（3月17日～4月18日受け入れ分）

ふるさと納税に寄付をいただいた方です。

高野真澄様（東京都大田区）10万円「地域の元気づくりのため」/ 梶山幸男様（東海村）5千円「自然を活かしたまちづくりのため」/ 匿名の方（水戸市備前町）3万円「指定なし」

善意ありがとう J A茨城みずほ様「学校教材（小学5年生用副読本）500部

迫力ある読み聞かせ

金砂郷おむすびの会のおはなしライブ

3月30日、交流センターふじで「読み聞かせサークル 金砂郷おむすびの会」のおはなしライブがありました。金砂郷おむすびの会は現在会員20人で、金砂郷を中心に小学校や幼稚園で読み聞かせボランティアを行い活躍しています。今回2回目となるおはなしライブで日頃鍛錬を重ねた喉を披露しました。元茨城放送アナウンサーのなとうきみこさんによる迫力あるゲスト朗読もありました。



金砂郷おむすびの会の皆さん

マウンテンバイクコースを満喫

うっかり八兵衛カップ15周年記念大会

3月30日、ふるさとの森 マウンテンバイクコースで「2014 うっかり八兵衛カップ 春休み編 15周年記念大会」が行われました。鍋焼きうどんの早食い親子競技「お父さん 鼻からうどんが!？」と「4時間チームエンデューロ」など一斉にスタート。盛り上がる応援に雨を吹き飛ばす勢いでふるさとの森を走り抜けました。



雨のなか森を駆け抜ける

春の全国交通安全運動

交通安全キャンペーン

4月7日、子どもと高齢者の交通事故防止や全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を推進するため、内堀町の国道349号で街頭キャンペーンを実施。参加した団体は、太田警察署・交通安全協会・安全運転管理者協議会・地域交通安全活動推進委員協議会・大好きおおたネットワーク・ヤマト運輸・太田一高陸上部で、道行く運転者たちにチラシを配布しながら、交通事故防止を呼び掛けました。



啓発チラシで交通事故防止の呼びかけ

自ら助ける心構えを

島町自主防災会総会

3月16日、島町自主防災会総会が開催されました。平成26年度の組織体制や防災・活動計画などを協議し、自分たちの身は、まず自分たちで助けようと自助共助の意識の再確認をしました。その後、消防長から「身近な防災対策について」の講演があり、3年前の震災のスライドを観ながら現実を想定した対策を考えました。



地域の皆さんと一緒に防災対策

レジ袋削減運動にご協力を

レジ袋削減キャンペーン

3月27日、レジ袋の削減を推進する常陸太田市民ネットワーク（篠原勝幸代表）の主催で、ごみ減量化や地球温暖化を防止するため、かわねやフェスタ店やマックスバリュ常陸太田店等で「レジ袋削減キャンペーン」を行いました。お店を訪れるお客さんに啓発チラシを配り、アンケートに答えてくれた方にはエコバックやエコストッパーなどをプレゼントしました。エコストッパーなど配布



エコストッパーなど配布



店頭でアンケート

活力の地域づくりを

鯨ヶ丘ひなまつり

鯨ヶ丘ひなまつり期間中の最後の週末、会場になった鯨ヶ丘地区ではさまざまなイベントが開催。鯨ヶ丘ふれあい広場では「ダンスフェスティバル」、「屋台村」など、また鯨ヶ丘商店街（東一町～東三町）では、体験型のワークショップやワンデイ cafe などが行われ、多くの来場者で賑わいをみせていました。



空店舗でパフォーマンス



ワンデイカフェをオープン

自 世矢地区自主防災協議会発会式 主防災組織発足

4月16日、世矢地区自主防災協議会発会式が世矢小学校体育館で行われました。世矢地区では平成21年から自主防災会組織による防災訓練や災害要援護者対策等を実施。さらに、より一層の防災活動を進めるため、地域の学校関係や社会福祉協議会、老人クラブなど各自主防災会と連携をとるあらたな組織として発足しました。今後、住民が助け合う共助体制をより強固にしていきます。



式には約130人が出席

郷 豊田天功・香窓・英雄顕彰会 土の偉人をマンガで紹介

4月20日、里美文化センターで「豊田天功・香窓・英雄物語」出版記念祝賀会が行われ、漫画家で制作にかかわった阿部はるきさんなど約40人が出席。豊田天功・香窓・英雄顕彰会では、旧里美村出身で水戸彰考館総裁として活躍した豊田天功とその子香窓、香窓の妻で日本の保母第1号となった英雄の活躍と事績を広く紹介するため、子どもから大人まで親しめる漫画本を作成しました。



阿部はるきさんは歴史漫画に初挑戦

B NHK BSプレミアム S日本のうた公開録画

4月24日、NHK水戸放送局県域放送10周年と市合併10周年の記念事業として「BS日本のうた」公開録画を市民交流センターで行いました。太田一高や佐竹高の吹奏学部による合唱、ゲスト歌手の天童よしみさんや島津亜矢さんなどによる歌謡ショーが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

【放送予定】

5月18日 午後7時30分～
再放送予定
5月24日 正午～
6月6日 午後4時30分～

5 西染町ふれあい祭り 00個の竹灯りと桜のライトアップ

4月9日・10日に行われた西染町ふれあい祭り。今年は初の試みとして、水田の中の農道に手づくりの竹灯り500個を並べ、午後7時に一斉に点火。水田越しに見える桜のライトアップとともに幻想的な夜を演出しました。子どもたちも珍しい光景に歓声を上げて大喜び。豚汁もふるまわれ、地域の親睦を深めた祭りとなりました。



手づくりの竹灯り500個に灯をともし

瑞 瑞桜まつり 桜を地域の宝として守り伝える

4月12日、旧瑞竜小で「瑞桜を守る会」(小林一久代表)の主催で第3回瑞桜まつりが行われました。大正琴の演奏やカラオケ、チンドン演芸のほか集まったお客さんに甘酒や豚汁などの無料サービスのおもてなしがありました。



瑞桜のライトアップ



桜吹雪のなかの演奏

河 行灯の赤レンガと銀杏まつり 内の自然風景を写真の中に

4月6日から13日まで「河内の文化遺産を守る会」(檜山定人代表)の主催でフォトコンテスト写真展が旧町屋変電所(西河内下町)で開催されました。今年で8回目をむかえ、写真愛好家たちによる旧町屋変電所周辺の自然風景や秋に開催する「行灯の赤レンガと銀杏まつり」の様子などの写真97点を展示。また、13日には、さくらまつりを行いました。



河内の文化遺産を守る会の皆さん

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

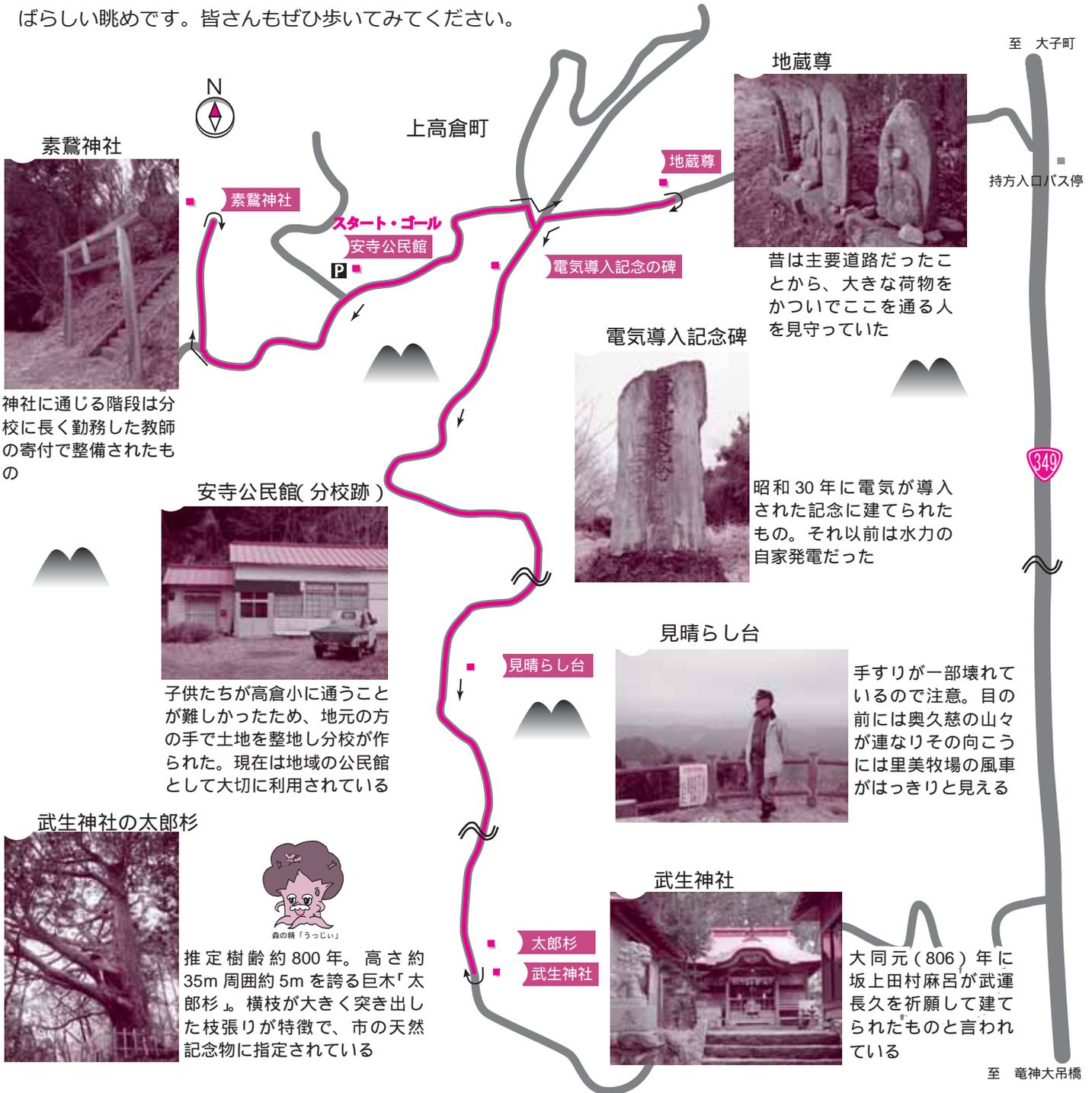


常陸太田市文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

上高倉町ハイキングコース 距離：約10.5km 所要時間：4時間

安寺～武生林道編

今回は、上高倉町の安寺地区を中心として下高倉町にある武生神社まで足を延ばしてきました。かなりの急坂を登りつめたところにある安寺公民館に車を止めて歩きはじめます。公民館の前を少し行くと階段があり素鷲神社が建っています。集落の真ん中には持方地区と同時に電気が開通したことを記念して電気導入記念碑がありました。テレビの購入も水府地区の中ではかなり早く、遠く大子町から歩いてテレビを見に来た方がいたそうです。また安寺から尾根つたいに続く約5kmの武生林道を歩き、途中で眼前に広がる美しい山々の風景を楽しみます。山の頂上付近からは、遠く富士山や日光連山などを望むことができ、春の新緑、秋の紅葉の大パノラマが広がるすばらしい眺めです。皆さんもぜひ歩いてみてください。



神社に通じる階段は分校に長く勤務した教師の寄付で整備されたもの



安寺公民館(分校跡)
子供たちが高倉小に通うことが難しかったため、地元の方の手で土地を整地し分校が作られた。現在は地域の公民館として大切に利用されている



武生神社の太郎杉
推定樹齢約800年。高さ約35m 周囲約5mを誇る巨木「太郎杉」。横枝が大きく突き出した枝張りが特徴で、市の天然記念物に指定されている



森の精「うっじい」



電気導入記念碑
昭和30年に電気が導入された記念に建てられたもの。それ以前は水力の自家発電だった



見晴らし台
手すり一部壊れているので注意。目の前には奥久慈の山々が連なりその向こうには里美牧場の風車のはっきりと見える



武生神社
大同元(806)年に坂上田村麻呂が武運長久を祈願して建てられたものと言われている



地蔵尊
昔は主要道路だったことから、大きな荷物をかついでここを通る人を見守っていた

西小沢小学校

児童数 91人

自然と歴史に見守られ

学校周辺には里川や久慈川が流れ、美しい田園風景が広がっています。明治6年、日進舎として創立。「夢や希望をもち、未来を拓く、生き生き西小沢っ子の育成」の教育目標のもと、明るく元気な91人が学んでいます。



生き生き学校生活

上級生が遊びの計画を立て、縦割りと一緒に遊ぶ「わんぱくタイム」や「縦割り清掃」など、異学年が協力しながら、アットホームな学校生活を送っています。



わんぱくタイムで仲良く遊ぶ

地域とともに子どもを守る

昨年度から「ふれあいまつり」を「ともみがき集会」に改め、学校と地域が一体となり「命を守る」訓練に取り組みました。

あの3・11を教訓に地震や火災を想定し、関係機関の協力のもと、煙道体験や消火訓練・安全な避難の仕方を学びました。

また、「お弁当の日」の一環として、親子で作ったおにぎりと、PTAが作ってくれた豚汁を仲良く食べた後は、児童の学習発表会。一緒に楽しい時を過ごしました。



ともみがき集会での発表



災害から身を守る避難訓練

部活ががんばります

世矢中 男子テニス部

里美中 野球部



団体戦で1勝が目標

部員は3年生3人、2年生5人。池澤康平部長は、「常に声を出し、ゲーム中の動きを考えながら、意図を持った練習をしています。コミュニケーションが大切なので、お互いにアドバイスしたり、励まし合ったりしています」。顧問の大上和子先生は、「先輩・後輩仲良く全員で活動しています。団体戦では2年生の力が必要。3年生は2年生を指導し、2年生はその期待にそえるよう努力中です。目配り・気配りができる世矢中一愛される部を目指しています」と話してくれました。

取材時、1年生は体験入部のため掲載していません



県北大会出場、そして勝利を目指す

外野に芝のある野球部専用グラウンド。3年生8人、2年生1人の大きな掛け声が響き渡ります。チームをリードする長谷川怜央主将は、「仲間と協力して励まし合い、試合に勝てた時の喜びはすごく大きいです。気持ちや声ではどのチームにも負けないよう、団結力の強いチームを目指しています」と話してくれました。顧問の二瓶正樹先生は、「野球は精神的な要素が強いスポーツ。試合中に苦しい場面でも、逃げないで向かっていく強さを身につけてほしい」と話していました。

元気におよげ!

～虹色の鯉のぼり～

今月は「幸久幼稚園」で～す(^0^)/
年長さん(ひまわり組)

大空をおよぐ 鯉のぼりのように、
「みんな大きくなーれ!!」と虹色の鯉のぼりを作りました。
心も体もすくすく伸びて、元気に成長して行ってね。



おめでとう!
はじめての誕生日

元気に
すくすく

5月で1歳です!



宮本紗羅ちゃん
5月5日(山下町)



笠原萼衣ちゃん
5月7日(木崎一町)



梅原湊くん
5月12日(真弓町)



和田太陽くん
5月14日(和田町)



檜山凌佑くん
5月16日(木崎一町)



江口素生くん
5月20日(幡町)



大高碧生ちゃん
5月22日(上宮河内町)



鈴木芽依ちゃん
5月23日(大菅町)



岩間珠愛ちゃん
5月25日(和田町)



浜田あやめちゃん
5月28日(増井町)



内山蒼介くん
5月29日(山下町)



お子さんの満1歳の記念に写真を掲載してみませんか。掲載希望の方は、任意の用紙に必要事項を記入し、写真を添えてお申し込みください。

対象 市内に住所を有する平成25年7月生まれのお子さん(7月号掲載分) 応募締切 6月5日木

必要事項 お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所、応募者(保護者)の氏名・電話番号

その他 メールの場合は写真データを添付してください(JPEG形式で3MB以内)。応募された写真は返却しませんのでご了承ください。

問情報政策課広報聴係(〒313-8611 常陸太田市金井町3690 / メールアドレス joh2@city.hitachiota.lg.jp / 内線303・304)

表紙によせて 山吹運動公園に、親子で楽しめる親水広場がオープン。これからの夏シーズン水遊びが楽しめる施設ですので、ぜひ、遊びに来てください。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690 72-3111(内線303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます

URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

旬彩レシピ

常陸太田の「旬」を感じるレシピを紹介!

第2弾は“きやらぶき”です。詳しくは8ページをご覧ください!

